



小山薫堂

Kundo Koyama

1964年6月23日 天草市生まれ。
放送作家として『料理の鉄人』や『THE 世界遺産』などを手掛ける。その一方で、映画脚本家としても、初脚本の『おくりびと』が米アカデミー賞外国語映画賞を獲得するなど高い評価を受けている

Suzanne



スザンヌ

1986年10月28日 熊本市(旧植木町)生まれ
『クイズヘキサゴンII』、『サンデーネクスト』などに出演し、同じ九州福岡でも『豆ごはん』にレギュラー出演
2008年11月「熊本県宣伝部長」に就任した

熊本県宣伝部長のスザンヌさんに、「熊本大好き」と公言する
極意を語ってもらいました

おもてなしに必要なのは「知る」こと。そして「笑顔」

んだ」と思われることが多い。例えば、

熊本はたくさん良いところがありま
熊す。その中でも、やっぱり「水」

外に出て改めて熊本の水はきれいな
だっと思えました。

熊本の魅力は、やっぱり
おいしい「水」

熊本は自然が豊かで、山も川もあつ
て、少し行けば海もありま
す。気軽に温

水が出るなんて言いますが、東京
では考えられません。向こうでは、水
道水をそのまま飲むなんてできない。
熊本を離れて、水が変わったことで肌
がすぐく荒れたんです。「水にお金を
出すの?」と不思議な感覚でしたが、

泉にも行くことができ、とてもいい
ですよ。
熊本の人のとって当たり前だと
熊思っていたことが、他県の人か
らすると、「熊本はそんなことがある

九州新幹線が開通して、県外の人
がたくさん熊本に来ると思いますが、笑
顔で迎えてほしいですね。私はどん
なときでも笑顔を忘れないようにして
います。落ち込んでいても、笑ってい
たら楽しくなるでしょ。ムスツとして
いる人より、笑っている人の方が親し
みやすい。だから笑顔って大事だん
て思っています。皆さんも、笑顔でお
もてなしてくださう。

くまもとサプライズ」の提案者・小山薫堂さんに「熊本の未来」
には何が必要なのかを聞いてきました

当たり前が幸せ
だと感じて欲しい

る(サプライズ)企画では
なく、熊本

まもとサプライズは、新幹線開
業で熊本に来た人たちを驚かせ

の人に「日常をリセットしてもら
うための企画です。この企画で、自分
の中で、当たり前だと感じているもの
も、県外から見れば、すごく特別で驚
くような価値をもったものがあること
を知ってもらおうのです。

僕は県外に出て、熊本の良さを実感
しました。上京して体を洗ったり歯を
磨いたりするときに水を使いますが、
そのときに「やっぱり熊本の水はおい
しいなあ」と感じるんです。熊本では
このようなことを思ったことがありま
せん。豊かな地下水を毎日気持ち
よく使うことができる熊本県民は
なんて幸せな人たちなんだろう
と思いました。それが「当たり前の幸
せ」です。

県民の皆さんに、日常生活の中で
「当たり前の幸せ」を見つけていって
欲しいと思います。皆さんが「当たり
前」を再認識することがサプライズに
なり、県外の人への「おもてなし」につ

ながるのではないかと考えています。

僕 は、生まれ変わるならシャンパン
を作りたいんです。お
めたいときに、シャンパンで乾杯す
るようなことってありますよね? そ
んな小さな幸せを演出する人になり
たいんです。例えば、天使みたいに、陰
に隠れながら、いろんな人生にちょっ
といたずらをして、人と人を巡り合
わせた。そして幸せになった人たち
をこっそり見るのがうれしいです
(笑) くまもとサプライズでも、僕の
役割は、皆さんの背中をちょっと押し
てあげるだけだと思っています。それ
をきっかけに、熊本の魅力に気付いた
人が動いて欲しいですね。

僕は幸せを運ぶ
天使になりたい

そして、地域の
人たちの熱き思い
が、熊本を変えま

す。しかし、全員が熱き思いを持つ必
要はなく、それをみんなが応援してい
くことが大切なのです。熊本の人に
は、変えようとしている人を見守り、
そして応援する人になって欲しい。
それが熊本の幸せであり、みんなの幸
福につながると思っていますから。



「笑顔」で起こすサプライズ

温泉、阿蘇、熊本城、いきなり団子、馬刺し、さま
ざまな誇るものがある、ふるさと『熊本』。3月12
日に開通した九州新幹線に乗って、多くの人が訪れ
ています。そんな今だからこそ、私たち一人ひとりが
「熊本」を見つめ直し、良さに気付いてほしいと、
熊本を代表する2人に話を聞いてきました。この記事は、
県内市町村の広報担当者が合同で企画・制作
しました。



「新幹線開通」をきっかけに「熊本
の魅力」を再発見」してほしいと賛同し
た県内の広報担当者が集まり、取材や
写真撮影を行い、みんなで言葉を選
んで作り上げた合同企画です。私たち
は、取材に「喜一」愛しながら2人の思
いを形にしました。それは、私たちに
とってすべてが「サプライズ」でし
た。
2人が語ってくれた熊本の魅力と
は、水や自然などの熊本に住む私たち
にとって当たり前のものでした。しか
し、それは日常生活の中に当たり前
に浸透していて、その価値になかなか
気付くことができません。
「当たり前が幸せ」と小山さん。
「熊本の当たり前が他県の人から見
ると、驚くこと」とスザンヌさん。
小山さんは「隣町にも、こんな良い
ところがあるんですよーって褒めあ
えたら熊本はもつと素晴らしい県にな
る」と話しました。熊本の良さを見
つけたら、日本が新幹線であつてい
くように、自分のことだけでなく、互
いに手をつなぐ。たった一人の思いや
行動が連鎖し、そこに共感が生まれる
…。今回の合同企画が、そんなきっ
かけになればと思います。
おもてなしには忘れてはならない笑
顔を添えて、熊本にサプライズを起
しましょう。